

入善町 議会だより

No. 12

発行者

富山県入善町議会

TEL 0765-72-1100

発行	入善町議会議長 上野 幸一
編集	入善町議会だより編集委員会
印刷	田中印刷所



二月十日入善町武村福祉会館来り

水産資源に対する国際的関心が高まり、漁業専管水域「200海里」の設定が各国大勢を占める困難な状況を踏まえ、遠洋漁業と沿岸漁民の大漁祈願と操業安全を祈る、入善町第23回大漁祈願祭並びに出漁者壮行会が催された。

補正予算ほか十三議案可決

監査委員に 奥田新作氏 吉原

第26回

第二十六回定例議会は、会期五日間として昭和五十一年度入善町一般会計補正予算(第四号)など予算議案二件、条例議案七件、その他の議案四件、同意案件一件、請願陳情等の審議(議決)は主な内容である。

定例議会

会議の経過

◆第一日 十二月十四日(火)
午後一時八分本会議を開会、第二十五回定例議会以後の議会に関する諸般の報告がなされた。
会議録署名議員に福沢議員、上田議員を指名し会期を十二月十四日より十八日までの五日間に決定、報告第五号寄附採納については寄附者の篤志に深謝し、これを了承することとした。九月定例議会に於て各常任委員会に付託閉会中の審議に付された、請願十件、陳情二件については委員会の審査報告を各委員長より求め、討論採決の結果全案件を採択することに決した。議案第五十四号工事請負契約の一部変更(入善漁港改修工事)については、工期及び執行上の都合も考慮し、町長の提案理由の説明の後、直ちに質疑、討論、採決に

入り、満場一致で可決。議案第五十五号ないし議案第六十五号の十一件を議題とし、上程案件について町長より提案理由の説明があり質疑を終了し午後一時五十七分散会した。
◆第二日 十二月十五日(水)
議案審査のため休会
◆第三日 十二月十六日(木)
午前十時十五分開議、町政一般に対する質問を議題となし、通告のあった六人の議員から、町政に対する質問、応答がかわされ午後二時三十七分散会した。
◆第四日 十二月十七日(金)
議案審査のため休会
◆第五日 十二月十八日(土)
午前十時二十分開議、議案第五十三号昭和五十一年度入善町歳入歳出決算認定についてを議題とし、決算特別委員会に付託審議されて

いた一般会計歳入歳出決算及び、国民健康保険特別会計歳入歳出決算ほか五特別会計について、決算特別委員会の審査報告を委員長金田議員より報告がなされ、討論採決の結果、委員長報告の通り認定することに決定。本定例会に上程されている議案第五十五号ないし議案第六十五号の十一件については討論採決の結果、全案件を原案通り可決。議案第六十六号字の区域の変更及び廃止について(東部土地改良区八輪工区)が追加提案され、原案通り可決。請願第三十三号ないし請願第三十七号及び陳情第五十三号ないし陳情第十六号の請願五件、陳情四件が上程され、紹介議員より請願主旨の説明があり質疑を終了しこれを各常任委員会に付託、閉会中の審査に付すことに決した。同意案第三号監査委員の選

任については、町長より提案理由の説明の後、採決の結果満場一致

審議(議決)された議案

●議案第五十四号 工事請負契約の一部変更について(入善漁港改修工事)
契約金額四千八百万円を四千九百二十万円に、工期の十二月二十日を十二月二十五日に変更。

●議案第五十五号 昭和五十一年度入善町一般会計補正予算(第四号)

四千三百三十四万六千円を減額し予算総額五億九千三百七十五万四千円とする。
●議案第五十七号 入善町の職員給与に関する条例の一部改正について
人事院の勧告に基づいて職員の給与改善に関する条例の改正。
●議案第五十八号 入善町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
先般執行された衆議院議員選挙に伴って選挙長、投票票管理者、立会人の報酬を交付基準により引上げる改正。
●議案第五十九号 入善町非常勤の職員の公務災害補償に関する条例の一部改正について
富山県町村非常勤職員公務災害補償条例の改正に伴い、これに準じて改正。
●議案第六十号 入善町保育所条例の一部改正について
上原保育所移転改築により位置の変更及び定数の改正。
●議案第六十一号 入善町災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例の一部改正について
当該法律並びに同施行令の一部改



新年予算と取り組む

●議案第六十二号 入善町非常勤の職員の公務災害補償に関する条例の一部改正について
富山県町村非常勤職員公務災害補償条例の改正に伴い、これに準じて改正。
●議案第六十号 入善町保育所条例の一部改正について
上原保育所移転改築により位置の変更及び定数の改正。
●議案第六十一号 入善町災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例の一部改正について
当該法律並びに同施行令の一部改

で原案通り可決し、午前十一時二十四分閉会した。

正が本年十月十六日公布施行され
たことに伴う改正。

●議案第六十二号 入善町営住宅
設置条例の一部改正について

西町及び上田の三十戸を建設省の
認可を得て私下契約終了により
削除するもの。随って町営住宅は
東町六十戸上原六十戸舟見二十戸
の百四十戸となった。

●議案第六十三号 入善町芸術文
化振興基金条例制定について

山本正勝先生より芸術文化振興の
ため基金として二百万円を寄附を
申し出られその趣旨を尊重し基金
制度を設け、基金の管理運用の方
法を定めるもの。

●議案第六十四号 字の区域の変
更について(平曾川沿岸土地改
良区)

土地改良(圃場整備)事業に伴う
字の区域の変更

●議案第六十五号 新規土地改良
事業計画について(入善東部地
区)

当事業は既に昭和五十一年度より
西部地区が実施されており、今回
東部地区(県道新屋舟見線より東
側)を昭和五十二年度から実施に
入る。

事業名 非補助農道整備事業
事業量 総延長 三三、〇〇〇米
事業費 三億五千万円

●議案第六十六号 字の区域の変
更及び廃止について(東部土地
改良区・八幡工区)

土地改良(圃場整備)事業に伴う
字の区域の変更及び廃止

●議案第五十三号 昭和五十年
度入善町歳入歳出決算認定につ
いて

昭和五十年入善町一般会計歳入
歳出決算ならびに昭和五十年入
善町国民健康保険特別会計ほか
五特別会計決算は原案通り認定。
●同意案第三号 監査委員の選任
について

奥田新作氏(入善町吉原)を選任

●報告第五号 寄附採納につ
いて

寄附物品現金換算として
四百九十四万二千円也

●請願・陳情 採択されたもの
請願第二十三号 ないし請願第三
十二号(議会だより第六十一号五
頁参照)

●請願・陳情 常任委員会に付託
審査をすることとなったもの

●請願第三十三号 県道上飯野入
善停車場線歩道設置方請願

●請願第三十四号 町営相違道場
建設の請願

●請願第三十五号 道路舗装の請
願(青木地区)

●請願第三十六号 警察官アパ
ー卜山線の農道舗装について請願

●請願第三十七号 客土事業に対
する補助金交付方請願

●陳情第十三号 町・農道舗装工
事方に関する陳情(五十里地区)

●陳情第十四号 道路の舗装につ
いて陳情(上青木地区)

●陳情第十五号 高島地区内町道
舗装に関する陳情

●陳情第十六号 入善町立入善西
中学校プール建設について陳情

町政の問題点をつく

一般質問

昭和五十一年度予算 編成方針について抱負を問う

小林与三雄 議員

町議会自民党議員会より来年度
予算編成に当り、福祉、産業、教
育等柱とする重点施策の二十項目
を当局に要望し、

第一の柱の社会福祉関係では、
現在老朽化また定員オーバーその
他で住民より要望の強い保育所の
改築、老人医療を中心とした住民
の健康を守る保健活動の充実、小
学生、弱者老人等住民を車の事故
から守る交通安全対策の充実その
他数項目

第二の柱、産業建設関係では、
各地区公聴会で最も要望の強かつ
た道路舗装の推進及び農村総合整
備事業の推進、漁業の振興と沿岸
住民の土地財産を守るための漁港
整備と海岸保全の充実、商業活動
をより一層浸透し、環境を良くす
るための都市計画事業の促進その
他数項目

第三の柱、教育関係では町総合
計画に策定されている黒東小学
校の建設促進、各地区要望の中小
学校の将来を見通し現状に即した
小中学校の拡充整備、時代を担う
青少年の指導育成と生活に「生き
がいと、潤い」を与えるスポーツ
芸術文化を盛んに、その他数項目
以上が我が自民党議員会の要望事
項の概要であります。
住民の切実なる願望を実現し、
将来の行政需要を先取りする事は

基本的には入善町総合計画を骨
子として、一般会計の予算規模は余
程の事情のない限り三十四億四
五千万円が堅実でないかと考えて
いる。自民党議員会より申し入れ
のあった投資的の事業に於ては「社
会福祉」「産業建設」「教育文化」
「事業を積極的に推進したい。特
に教育面に於て黒東小学校の建設
は勿論、入善中学校、その他老朽
化した小学校は実情に即して、年
次別に増改築を考えて行きたい、
歳入面では均衡ある適正課税と
課税客体の完全把握に努め、その
他の財源についても充分調査把握
に努める。

歳出面では、住民の効果度や緊
急度、そして補助事業の吸収能力
などを念入りに検討を加え、要望に
応えたい。
経常経費は出来得る限り節約し
て投資的の事業に回して、あくまで
「健全」「積極財政」をつらぬい
て予算編成に取り組みたい。

保健活動施策強化と 母乳推進指導体制を問う

谷 雪 枝 議員

① ゆりかごから墓場までの人間一生の健康は大切で、町発展の基盤作りでもあり、家庭の幸せの基本であります。町民の健康を守るための予防活動に於て、また健康保持活動、健康増進対策振興と健康センター事業を立案にされ、そのために予算の増額を図り、保健活動をより高率的、効果的に実践し、町民健康の土台を築き上げるための保健活動の充実と強化を図ってほしい。

② 近年米の乳児が母乳から人工乳で育てられている現在を考えると、全国の不良少年の八〇％が人工乳で育っていると言われております。天然自然の身えられている良の母性を注ぐ母乳で育てる様推進しなければならぬと思います。今までは結核時代からガン時代であり、次はノイローゼ時代がやってくることを聞くと向更母性愛情の母乳で育てる様努力する必要に迫られていると考えられる。この時町行政で母乳推進体制を強化し、若友教育指導を推し進められたい。

町長

① 健康問題については、機関団体でそれぞれの分野で対応策を削っておられる。町に於ても各種団体の強力なバックアップ、保健所の適切な指導の下、結核予防対策、成人病予防対策、母子保健

対策等「町ぐるみ」の地区保健活動の展開が功を奏し、今回国保特別会計は減額補正を見る事が出来た。更に活動を充実していきたい。また保健婦八名が地区担当と業務担当の分担を定め、健康センターを中核として、家庭訪問、健康相談、衛生教育、公衆衛生活動に従事し業務実績では県下で一位を示しております。今後の計画もこれを見下ろすことのないよう配慮していきたい。

② 最近母乳と言うものは乳児にとつて精神面に与えるものが非常に大きいと言われております。母性愛の欠除、母子関係の喪失は自分の母乳を与えないところから起きている。また乳児が先天的に乳を求めず時、始めと終りと違々と私達は聞いております。自然に授乳量がコントロールされているので、更に大事な事は母乳は病気に對する免疫効果を有している。また母親の心音で乳児が胎児期に聞いた同じ心音をその胸で確かめて安心してねむりにつく事が出来るこの事を母子教育に徹底していきたい。また妊婦教育の際母乳を飲まされる様指導してはおりますが、更に母乳の推進を打出し指導強化に当たらせたいと思っております。



二〇〇カイリ水域設定と 北洋漁業問題について見解を示せ

岩 場 俊 議員

① ソ連の二〇〇海里専管水域設定は、北洋漁業に大きな打撃を与えると考えられる。町の北洋漁業従事者に影響があるとするれば、その対応策はどうか。北方領土の返還問題を原点にたちかえつて再び取り上げる考えがあるか。また軍備の問題のみでなく、食糧、エネルギーも含めた日本の安全保障問題の取り組みを町当局が政府に働きかける意思はないか町長の見解を賜りたい。

② 本年度予算執行について、地方交付税法等の一部を改正する法律案が五月十四日成立、その九項

- 前大日岳 一、七七九
- 樽ヶ岳 一、八五五
- 前駒ヶ岳
- 駒ヶ岳 二、〇〇三
- さんなびき山
- 二、八八九
- 鹿島楯ヶ岳
- 名剣山 一、九〇九
- 五龍岳 二、八一四
- 唐松岳 二、六九六
- 二、七〇五
- 清水岳
- 旭日岳 一、八二五
- 白馬岳 二、九三三

町長
が期待できるか

① 二〇〇カイリは各国の意向であり、世界の大部分であるから日本のみ反対しては、世界で孤立するのではない。特にソ連との問題は単なる漁業資源のみならず、北方領土に関する領有権もからみ、国と国の政治的な問題で、円満なる交渉なしに安全操業は出来ない。県内より出漁している、母船式サケ・マス流し網漁で、七〇七トン水揚げしたうち、六〇〇トン余りがソ連の二〇〇カイリ水域内とみられます。また入善町内の事業主の営む漁業を見ますと、総漁獲量の二七・六%が外国水域から水揚げされており、現状で、町におよぼす影響は非常に大きい。入善町がとやかく言っても、いかんとも仕舞い問題でありまして、慎重に見守っている。北方領土は日本固有領土である事を強調すべきであり、外交交渉により総ての問題の円満解決を望んでおります。

② 二質問の四項目について
第一項の地方交付税の特別会計借入金等については、昭和五十四年度から昭和六十一年度までの長期の間で、なしくずしをする事に決まりましたので、後年度のなしくずしです。物価上昇や財政構造の変化で負担が有利になったと思つて、第二項は国庫補助負担制度の超過負担については、現時点で未解決。第三項の教育施設、社会福祉施設の負担制度の拡充強化についても、発展はみておりません。

第四項は、地方交付税の基準財政需要額の算定に当たつての単位費用の改善充実については、前年度対比一四・五%の上昇であることと、需要額の算定に当たつて調整費(予測しがたい財政需要額の発生に対処して)として各費目に算入されることになったので、本町として約三千二百万円の収入増になったと見ており、即ち一と四にはメリットが出ており、二と三は進展は見えておりません。次は本年度の投資的経費の執行状況は現在九〇%執行済みであり、一〇〇%執行出来得るものと思つて、予算に占めます率は四五%で県下最高の投資的経費であります。

③ 来年度予算の見直しについて
現行法でみて、八%の伸びと見ており、新築家屋、タバコ消費税電気ガス等で若干期待出来、ますので最終的に一〇%台と見ている。

④ 安定した財源は地方交付税であり、安定させるには国税三税の五〇%となればよいのだが、現状の中央情勢では現行の三十二%引き上げに難色を示している。関係機関の働きかけが必要である。

⑤ 結論から言えば大蔵省が許可しないものと思つている。最終的には地方債と国債との競合を避けたいと言つのが本音と思われる。理由として、地方債の発行に歯止めがなく、民間の資金量に限界があり公庫を設立したからとて資金量の増える要因はない。地方債の円滑になる裏付はない等であります。

漁港拡張に関連して 飲料水枯れ、消火栓対策を図れ

岡島松次郎 議員

① 異業種集団化と救済対策について、現在の不況時に小企業が経営に色々苦慮致しており、また騒音等で近隣に迷惑をかけておるので、町として異業種団地等(豆腐屋、菓子屋、鍛冶屋)を造る考えはないか。市街地外に敷地を斡旋する意思はないか。

町長

② 漁港は町当局の二努力により完成に近すきつつありますが、前の工事中に井戸水が枯れ、困った家がたくさんあったので、今度の漁港拡張工事により水枯れが予想され、それと同時に火災と言ふ事も考えて大規模の簡易水道を造り飲料水対策、消火栓設置などする考えはないか。

① 異業種団地、或いは敷地を斡旋すれば企業がそこへ建物を建て移動しなければならぬ事になり現在の不況時では企業に無理がかかるので今は見合わせるべきだと思つた。

③ パン食と米食との実態調査について、十五人の婦人にアンケートを求めた所、大半の人が米食が

② 漁港事業は順調に進んでおり今後の漁港計画に於て推定五億円の事業費を計画している。この事業が始まると飲料水が枯れるのではないかと心配でございまして、芦崎地区は地下水の豊富な所なので、水枯れでなしに工事中一時的な地下水不足が起きると思つた。今後充分配慮して工事を進めて行きたい。消火栓対策につきましては、砂地のため消火栓は無理であり、防火用水の導入する事が最も安全で確実であると考えている。



③ 町の調査でも米食が非常に好評である。米食にすれば米は消費価格の三十五%値引きしていただけるし、米食施設に対して三分の一の補助もある。現在小中学校で六校を米食にしているが来年も二、三校増やすつもりである。



学校建設事業計画の促進について

福沢万次議員

① 何事も県下一を自負しておられる入善町長だが、学校建設事業だけは、他の事業よりおこなわれている。合併二十年を経てやつと西中一校が完成され、現在の長期計画では今後二十年以上かかり老朽、危険校舎が大部分であり、児童、生徒数の増、学校格差問題もあり計画を、今以上に促進されたい。統合黒東小学校建設に当たり、生徒本位としたゆとりのある漸新な設計を望む。

② 関電新朝日電計画について黒部川水系の一部流域変更となるが町長の考えをお聞きしたい。また、宇奈月ダム及び新愛本発電計画がどの様に進められているかを問う。

町長 ① 学校建設がおこなわれている事は認めているが、行政の均衡も考えて行かねばならぬので苦慮している。中学校の統合も一校にすれば、町としてはもうすこしの進み足しで出来たが、教育効果その他を考慮し、良心的に二校とした。そのため入善中学校の用地確保等に努力している。また老朽、危険校舎の状況を把握しながら学校建設事業を真剣に考え積極的に進めて行きたい。

② 新聞報道は適正を欠いていると思う。新朝日電となつていくが北又、或いは小川発電とすべき

で、昭和二十六年県政総合開発計画の中で既に検討されており、一部の流域変更であるが、メリット、デメリットの部分等もあり、公式に話があれば質すものは質し、協調すべきものは協調する。新愛本発電については、本流発電とも言っており、関西電力より話を聞いてもらいたいと言っておりますが入善町としては魅力もありませんので話はそのままにしている。

関連質問・浜田議員

只今の町長答弁に対し、入善中学校の建設については、いささかも計画に入っていない様にうけたる九日入善中学校PTA会長の召集により、PTA役員並びに校下議員の会合の席上、一月中に入善中学校促進協議会を結成し、協議会の同意を得て場所は現在地に建設、三月議会に間に合う様請願書提出する事に決まり、早急に実現を見る事に一致を見た訳で、町長が如何様に考えておられるか、ご意見を伺いたい。

町長

入善中学校は建設するつもりであり、敷地等に苦慮致しており、現在、敷地の場所と私なりに復構えしてある訳で、用地のお願いも内々進めているが協議会でござわられますと、やりにくくなる。私を

信頼して頂きたい。現在の場所では建設致しますと最大の工夫はしますが、西中学校程の良い環境には

ならないと思う。皆様方とよく相談し物事を進めて行きたい。

北陸線の踏切改良を急げ

本田幸光議員

現在入善町に国鉄踏切が十六箇所設けられている。内訳は県道にかかるとが三箇所、町農道にかかるとが十三箇所、近年列車のスピード化と運行回数の増加に伴ない、安全対策として踏切の改良が重要且つ緊急を要する。中でも下上野踏切は、ほ場整備事業により道路の位置が変り、極端にカーブ

しており利用住民に於て不便を余儀なくされている。農耕用の機械運行も非常な危険を伴うので、早急に改善されたい。

町長

ほ場整備により各道路が拡中されたにもかかわらず、踏切だけが狭いまま放置されている箇所がいくつもあります。今ひとつは間

題になつている下上野踏切は道路中四米に対し踏切は一・六米で非常に危険である。踏切を直すには国鉄からの請求は普通の四・五倍もの高いものをもつてくる。また条件を付けて容易に應じてくれない。その条件は踏切道の拡中はすべて道路管理者で負担すること。またひとつの踏切を拡中、改良する場合、必ず他の踏切をひとつ以上廃止することを主張して譲らないので、いずれ統合の問題になると地元協力が無いと出来ませんし、危険でもあり、なおさらに出来ないう事は充分承知しており、事情を踏まえながら対処したい。



踏切改良が望まれる北陸本線

教育県の学校視察

昭和五十二年度より着工予定の統合される黒東小学校（仮称）建設に当たり、設計、施設面の参考にと議会文教厚生常任委員会、学校教育課、企画財政課、合同で十一月十九日午前七時今にも降りだしそうなくれ空に追いついてられ様に出発、長野県教育委員会から紹介された三校のうち、先ず飯綱中学校へと国道八号線を東に向い季節風の白浪高い日本海を車窓に見て、上越市を回り国道十八号線に入り妙高々原駅附近を過ぎて野尻湖まで約二時間半余り一息に



御代田小学校視察

走り続け「シーズンオフ」の寒々とした湖畔で小憩、一息入れて飯綱中学校へ予定の十時三十分に着、約一七キロメートルを。飯綱中学校（平礼村、三水村組合立中学校）昭和四十五年、三中学校を統合、飯綱中学校として新築、生徒数五九二名、鉄筋コンクリート二階建（西中学校とはほぼ同じ）本街道より約四〇メートルも高い丘の上の学校で、バスがやと登る急坂。正面玄関が見当たらずとまどふ。

校長先生の説明によれば、生徒

福 沢 万 次

本位に設計され、正面昇降口は広くとっており、教職員の入口もみな同じである。校長室も学校に似ず簡素でせまい。教員室も同様であった。しかし、教室は廊下の騒音を防ぐため広いブレイ・ルームを隔て、廊下をとり、しかも教室との間の屋根は「ガラス」ぶきで温室の中に教室がある様だ。（夏は少し暑いとの事）非常に明るく、二階の廊下に立てば各教室の中まで一目で見える斬新なアイデアに一驚さす。各教室の黒板の裏側が生徒のロッカーや、雨具掛けとなっているのも工夫されていると思つた。

予定の一時を少し超過して、正午近く大の視察地、御代田町へ向う。午後から小春日和のよい天気となり高原の晩秋の日射しに痛み残しのリンゴや鈴なりの柿の色の鮮やかさが目にしみる。小諸市附近より雲一つない晩秋の空にうすい赤紫の刷毛で面いたような美しいなだらかなスロープの浅間山は一幅の絵のようで深く印象に残る。途中忙しい中食をとっただけで、バスは約一〇キロ近く走り予定より約一時間程おくれ午後三時半御代田町役場に到着。

御代田町は人口九千三百人、一般会計十五億三千九百万円（昭和

五十年年度）の小さな町だが、十六年前に統合中学校を造り、今度昭和四十九年より三カ年計画で現在ある三校を南、北の二小学校に新築統合し明年四月、同時開校の予定で、二校ともほとんど仕上り、今体育館建設中であり両校併せて総工費十二億を投資している。いかに教育に対する意識が高いかが推察できる。早速ほとんど完成近い北小学校に案内してもらおう。（両校ともほとんど同じ設計）

○北小学校 学級数十二 特殊学級一 児童数三八八名

○南小学校 学級数十三 特殊学級一 児童数四三二名

白樺とから松林に囲まれ、目の前に浅間山のやさしい山すが広がる静かな高原にゆつたりとした二万三千平方メートルの敷地に鉄筋コンクリート三階建、薄茶とクリーム色の「ツートンカラー」の校舎のたまたまは、教育環境として最も適し他に類を見ないだろうと思つた。

建設に当たって留意された点は寒冷地のため教室を南側にとり廊下を北側とした事、高学年と低学年の昇降口を別にした点、一階、二階、三階の階別に教室の戸、その他を色分けにした点、その他教室の床、壁等に特殊な工夫がなされている事等が参考になった。

午後四時半過ぎ、短くなった日射しを急ぎ今日の宿泊地、山あいの静かな別荘温泉へ日暮れのラッシュと重なり日はとっぷりと暮れて六時やつと旅館に着く。

翌日は午前九時出発、丸子町を通り千曲川支流、内村川をさかのぼり、幾つかの温泉郷を素通りし「日光の馬坂」の様な急勾配を雲の上まで登り、十一月初め開通したばかりの見事な三才山トンネルを通過して文教の都市、松本市開智小学校へ十一時到着。

松本市は、明治五年学制発布当時の就学率全国一で、当時の田開



旧開智小学校

智学校は教育博物館となり重要文化財に指定され、明治、大正、昭和に亘る教育資料三万点が保存されている。

開智小学校、昭和三十八年新しく統合して開智小学校として新築開校。学級数三四、特殊学級一、特別教室一一、児童数一、三二四名のマンモス校。

この学校の特徴は、ゆとりのある

目・耳・声

一年の定例会議を顧みて

る近代的校舎で校舎の配置、教室昇降口が児童本位に設計されている点、特に横につなぐ廊下がなく階段が二教室毎に設けられている点、教室の床下に暖房設備があり床から室内が暖まり冬でも教室内は半ズボンやトレーパンで充分であり生徒が活発に動きやすいとの事十数年前の当時としてはずい分思いついた設計と感心しました。

当時の工事費が、二億一千二百万円で、そのため市が赤字団体に転落した由、さすが文教の都市の熱意の程が感じられました。

教育博物館で正午が過ぎ、やつと予定した三校の視察を終了。おそい昼食をとった後、国道一四八号線を大町経由由姫川の溪流を下り糸魚川を回って、一路入善まで一三五キロをひと走り、暗くなった午後五時三〇分やつと庁舎前へ到着。

二日間とも強行日程で、一行は「ダウン」寸前の状態。特に全行程約四二〇キロを運転した柴垣君の労は大変だったと思う。しかし浅間山の美しい姿と視察した三校とも、私達が今まで持っていた学校の概念よりはるかに進んだ生徒本位の創意工夫等、これからの学校建設に際して参考にすべきものが沢山あり、旅の疲れも苦にならなかつた。

これから建設する統合黒東小学校をはじめ今後逐次計画される学校建設に本視察によって得た参考事項を生かし、理想的な教育の場の建設をめざしたい。

日本経済の不況が長期化し景気の低迷、加えて地方財政難の基調は依然として変化しない厳しい情勢にあつて住民が地方行政におけるニーズが好むと好まざるにもかかわらず多様化し、限られた財源によつて効果的な住民サービスの向上を図る方策が求められているのであります。

この様な背景にあつて本町も例外でなく財源の重点配分と一般経常費の圧縮や支出の効率化を骨子として公共事業が促進された。定例議会において財政問題を基軸として福祉、農政、教育、生活環境整備などの諸問題に活発な論議が当局とかわされた。そこで議員各位に望みたいのは任期中に政党一住民一行政の分野で自らの役割を達成することでありませう。

七十年代後半における政治、経済社会の潮流が極めて激しく激動と変容が予想され、町政にあつても論をまたないのであります。

議会は組織体であり議員個人の孤立した状態であつては如何に才能があつても大をなすことが出来ません。更に議会の構成は常任委員会など、共同作業のネットワークから成るのであります。一匹狼に没頭し自分の城を築く議員は組

織の一員として落第であると言えましよう。今後議員各位に要請する行政は厳しくなると思いますが、衆知を結果して果敢に対処され日々町政の研鑽と努力に勇気を奮つてがんばつて頂きたい。

入善町入膳 西村 三夫



議会用語

議会日誌

補正予算

一般に、予算は、その性質上その成立後の事情の変更によつて過不足を生じ、またその内容を変更する必要が生じることはやむをえず、こういう場合に当初のでき上がった予算を変更する予算が補正予算であり、この場合、基本の予算を本予算と称している。つまり予算は、編成時における既定事実等を基礎とした将来の見積りであるから、年度中途において災害の発生、政策の変更、制度の改正等により経費に過不足を生ずることがあるが、このような場合にいつたん成立した予算の科目または金額の補正を認めざるをえないからである。

- ◆10月
 - 7日 決算特別委員会(第二日)
 - 8日 下新川郡町議会議長会 (於入善町)
 - 20日 決算特別委員会(第三日)
 - 21日 決算特別委員会(第四日)
 - 26日 総務委員会
 - 28日 決算特別委員会(第五日)
 - 29日 決算特別委員会(第六日)
- ◆11月
 - 5日 決算特別委員会(第七日)
 - 9日 第一回全国豪雪地帯町村議会議長会(於東京 都久保講堂)
 - 10日 第二十四回町村議会議長大会(於NHKホール)
 - 15日 決算特別委員会(第八日)
 - 自19日 文教厚生委員会県外学校施設視察(長野県下)
 - 至20日 産業建設委員会
 - 24日 文教厚生委員会
 - 30日 文教厚生委員会
- ◆12月
 - 6日 議会運営委員会
 - 14日 議員全員協議会
 - 自14日 議会運営委員会
 - 至18日 第二十六回入善町議定会例会

後記

新しい年になっていつのまにかひと月がすぎてしまいました。本号は、十二月定例会の模様をお届けいたします。親しまれる議会だよりとするため努力いたしておりますので、本年もよろしく願いたします。入善町議会だより編集委員会